

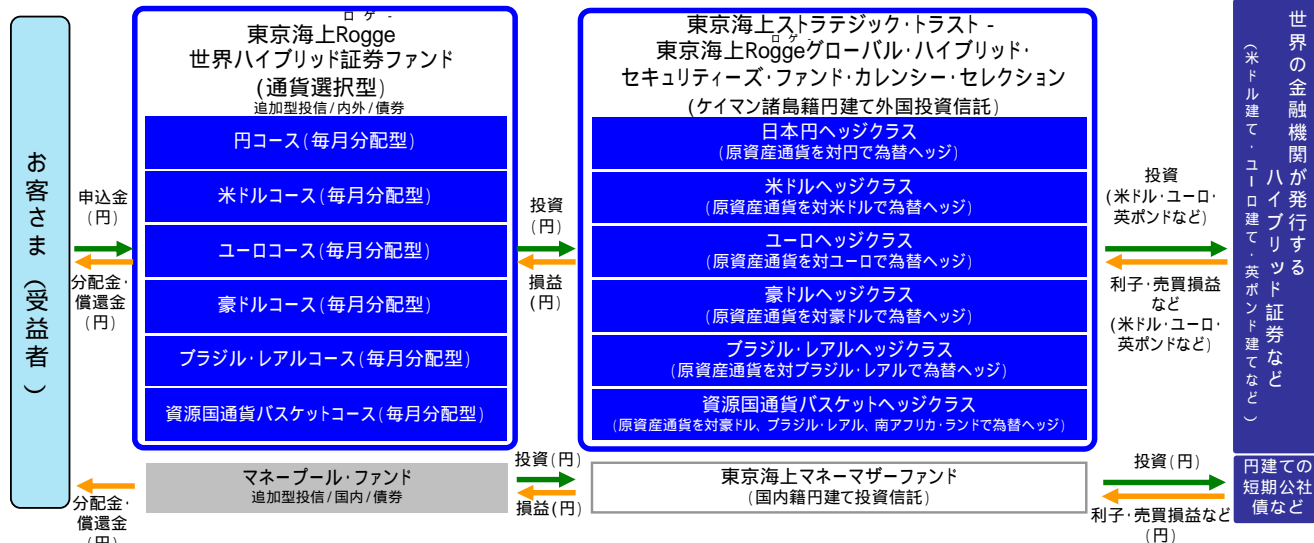


東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型） 月次報告書

ファンドの特色（詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

- 世界の金融機関が発行するハイブリッド証券等を主要投資対象とします。（「マネープール・ファンド」を除く）
 - 各コース（マネープール・ファンドを除く6つのコースを総称して「各コース」といいます。）は、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券*等を主要投資対象とする円建ての外国投資信託「東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド・カレンシー・セレクション」（以下「外国投資信託」といいます。）と、円建ての国内籍の投資信託である「東京海上マネーマザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。
*「資本」と「負債」の性格を併せ持った証券で、具体的には劣後債（期限付劣後債、永久劣後債）、優先出資証券等があります。
 - 「マネープール・ファンド」は、円建ての短期公社債などを実質的な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
- 投資対象は取得時において投資適格（BBB格）相当以上を有するものとします。
 - 外国投資信託が投資対象とするハイブリッド証券等は、取得時において、ムーディーズ社、S&P社、フィッチ社（2011年8月末時点）のいずれかより投資適格相当以上の格付けを取得しているハイブリッド証券等に限り、取得後に格付けが投資適格相当未満に下がった場合においても、個別銘柄分析などによる投資判断に基づいて当該銘柄の保有を継続する場合があります。
- 「東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）」は、投資対象とする外国投資信託における為替ヘッジ手法の異なる6本のコースおよび「マネープール・ファンド」から構成されます。
 - 「円コース（毎月分配型）」においては、投資対象である外国投資信託の組入資産について、原則として対日本円での為替ヘッジを行います。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
 - 「円コース（毎月分配型）」以外の各コースにおいては、投資対象である外国投資信託の組入資産について、原則として当該通貨での為替ヘッジを行います。（例えば「豪ドルコース（毎月分配型）」においては、「原資産通貨売り／豪ドル買い」など）
 - 「資源国通貨バスケットコース（毎月分配型）」においては、豪ドル、ブラジル・リアル、南アフリカ・ランドで概ね3分の1ずつ為替ヘッジを行います。
 - 各コースの為替ヘッジは外国投資信託において行います。
 - 各コース間および各コースと「マネープール・ファンド」間でスイッチングが可能です。

＜ファンドのしくみ＞



※ 外国投資信託において、米ドル建以外のハイブリッド証券等に関しては、原則として対米ドルでの為替ヘッジ後、各ヘッジ対象通貨に為替ヘッジを行います。

※ 各コースは、外国投資信託のほか「東京海上マネーマザーファンド」にも投資します。

※ 「マネープール・ファンド」の購入は、各コースからのスイッチングの場合のみとします。

- ハイブリッド証券等の実質的な運用は「東京海上Rogge社」が行います。
 - 外国投資信託におけるハイブリッド証券等の運用の指図（米ドル以外の通貨建資産の対米ドルでの為替ヘッジを含みます。）は「東京海上Rogge社」（英国ロンドン）が行います。
 - 外国投資信託における各クラスの対ヘッジ対象通貨での為替ヘッジは、「東京海上アセットマネジメント投信」が行います。
- 年12回の毎決算時に、原則として毎月分配を行います。（「マネープール・ファンド」を除く）
 - 毎月17日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とし、原則として毎決算時に安定分配を継続的に行うことを目指します。収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向などを勘案して決定します。
「原則として、毎決算時に安定分配を継続的に行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定分配とならない場合があるにご留意ください。
 - 「マネープール・ファンド」は、年2回決算を行い、収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向などを勘案して決定します。
※ 分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。

資金動向および市況動向などによっては、上記のような運用ができない場合があります。

設定日	2011年11月8日	信託期間	2021年9月17日まで
決算日	各コース	原則	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）
	マネープール・ファンド	原則	3月17日、9月17日（休業日の場合は翌営業日）

※12ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



ロゲー

東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型） 月次報告書

ファンドの主なリスクについて(詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

各コース(「マネープール・ファンド」を除きます。)は、主に投資信託証券への投資を通じてハイブリッド証券等値動きのある証券を実質的な投資対象としますので、基準価額は変動します。また、「マネープール・ファンド」は、主に公社債等値動きのある証券を実質的な投資対象としますので、基準価額は変動します。したがって、当ファンドは**元本が保証されているものではありません。**

委託会社の運用指図によって**信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者に帰属します。**

投資信託は、**預貯金や保険と異なります。**

当ファンドへの投資には主に以下のリスクが想定され、これらの影響により損失を被り、**投資元本を割り込むことがあります。**

《各コース》

■ハイブリッド証券への投資に伴うリスク : ハイブリッド証券への投資には次のような特有のリスクがあり、信用リスクや流動性リスクは普通社債への投資と比較して相対的に大きいものとなります。

①弁済の劣後リスク:一般的にハイブリッド証券の法的弁済順位は株式に優先し、普通社債に劣後します。したがって、発行体が経営破たん等に陥り、普通社債などが全額支払われない場合、ハイブリッド証券は元利金の支払いを受けられないことがあります。また、ハイブリッド証券は、一般的に普通社債と比較して低い格付が格付機関により付与されていますが、その格付がさらに下落する場合には、ハイブリッド証券の価格が普通社債以上に大きく下落する場合があります。

②繰上償還延期リスク:一般的にハイブリッド証券には、繰上償還(コール)条項が付与されており、この繰上償還の実施は発行体が決定することとなっています。市場環境などの要因によって予定された期日に繰上償還が実施されない場合、あるいは実施されないと見込まれる場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。

③利息・配当繰り延べリスク:利息または配当の支払い繰り延べ条項を有するハイブリッド証券は、発行体の財務状況や収益動向などの要因によって、利息または配当の支払いが繰り延べまたは停止される可能性があります。この場合、期待されるインカムゲインが得られないこととなり、ハイブリッド証券の価格が下落する可能性があります。

④制度変更などに関わるリスク:将来、ハイブリッド証券にかかる税制の変更や、当該証券市場にとって不利益な制度上の重大な変更等があった場合には、税制上・財務上のメリットがなくなるか、もしくは著しく低下するなどの事由により、投資成果に悪影響を及ぼす可能性があります。

■為替変動リスク : <円コース>

主要投資対象である外国投資信託は、原資産通貨売り/円買いの為替ヘッジにより、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、追加設定・解約の影響などにより、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、原資産通貨の金利が円金利より高い場合、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかります。

<円コース以外の各コース>

主要投資対象である外国投資信託は、原資産通貨売り/各コースの通貨買い(資源国通貨バスケットコースは豪ドル、ブラジル・レアル、南アフリカ・ランドを概ね3分の1ずつ)の為替ヘッジを行います。これにより、各コース通貨の為替レートの変動の影響を受け、各コースの通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となります。為替ヘッジは、追加設定・解約の影響などにより、完全にヘッジすることができるものではありません。また、原資産通貨の金利が各コース通貨の金利より高い場合、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかります。

※各コースの主要投資対象である外国投資信託の組入資産は、米ドルやユーロなど複数の通貨(原資産通貨)で構成されています。外国投資信託における米ドル建以外の組入資産に関しては、原則として原資産通貨売り/米ドル買いの為替ヘッジを行った上で、米ドル売り/各コースの通貨買いの為替ヘッジを行います。その際、両取引のタイミングや金額のずれが生じる場合があり、必ずしも完全なヘッジの効果が得られない場合があります。

※外国為替予約取引と類似する直物為替先渡取引(NDF)を利用することにより、為替ヘッジを行うことがあります。NDFの取引価格は、需給や当該対象通貨に対する期待などにより、当該通貨の金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、当ファンドの基準価額の値動きは、実際の当該対象通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。

■カントリーリスク : 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化などにより市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想以上に下落したり、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

また、投資対象国・地域には新興国が含まれています。新興国を取り巻く社会的・経済的環境は不透明な場合もあり、金融危機、デフォルト(債務不履行)、重大な政策変更やさまざまな規制の新たな導入などによる投資環境の変化が、先進国への投資に比べてより大きなリスク要因となることがあります。さらに、新興国においては市場規模が小さく流動性が低い場合があり、そのため証券価格の変動が大きくなる場合があります。

■特定の業種への集中投資リスク : 投資対象とする投資信託証券を通じて、金融機関が発行するハイブリッド証券に集中的に投資するため、幅広い業種に分散投資を行うファンドと比較して、基準価額の変動が大きくなる場合があります。

《各コース、マネープール・ファンド共通》

■金利変動リスク : ハイブリッド証券や公社債は、一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、反対に金利が下落した場合には価格は上昇します。したがって、金利が上昇した場合、基準価額が下落する要因となります。

■信用リスク : 一般に、ハイブリッド証券や公社債、短期金融商品などの発行体にデフォルトが生じた場合、またはデフォルトが予想される場合には、当該公社債などの価格は大幅に下落することになります。したがって、組入公社債などにデフォルトが生じた場合、またデフォルトが予想される場合には、基準価額が下落する要因となります。

■流動性リスク : 受益者から解約申込があった場合、組入資産を売却することで解約資金の手当てを行うことがあります。その際、組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも大幅に安い価格で売却せざるを得ない場合があります。この場合、基準価額が下落する要因となります。なお、各コースが実質的に投資対象とするハイブリッド証券は、比較的流動性が低いため、より流動性の高い資産への投資を行うファンドと比べて、基準価額への影響度合いが大きくなる可能性があります。

※12ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



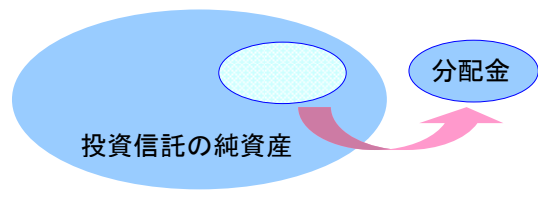
ローグ

東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型） 月次報告書

収益分配金に関する留意事項

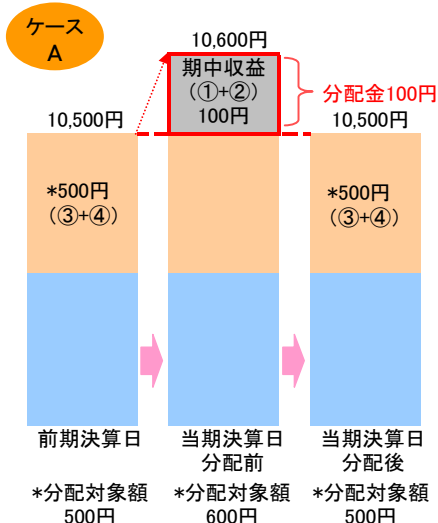
- 投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

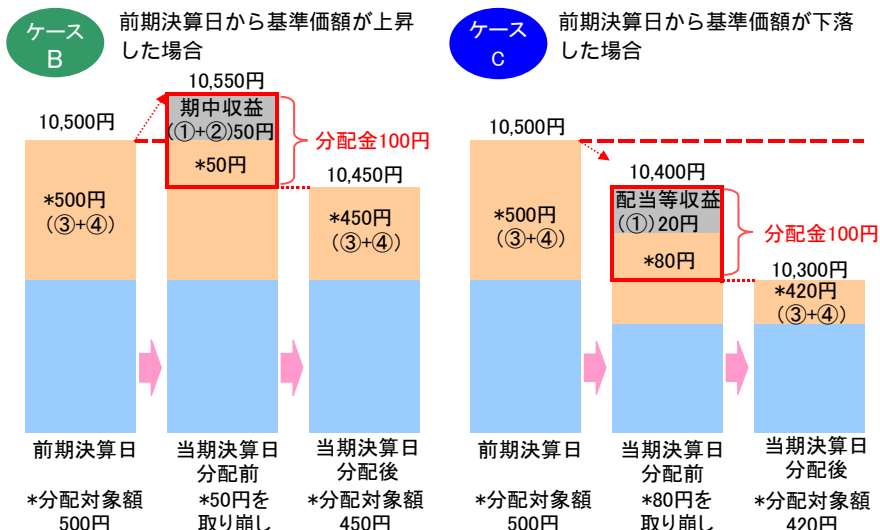


分配金と基準価額の関係（イメージ）

◇計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合



◇計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

- ①配当等収益（経費控除後） ②有価証券売買益・評価益（経費控除後） ③分配準備積立金 ④収益調整金

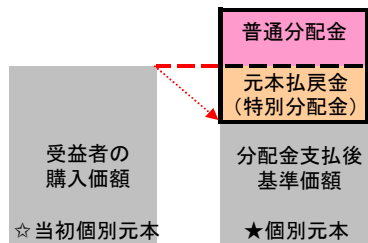
上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんので、ご注意ください。

上図のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

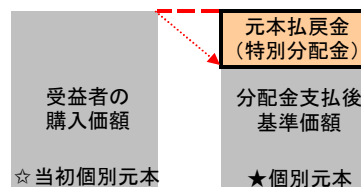
- ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 0円 = 100円
- ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 ▲50円 = 50円
- ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 ▲200円 = ▲100円

★ A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全額が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ◇分配金の一部が元本の一部払い戻しに相当する場合
- ◇分配金の全部が元本の一部払い戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

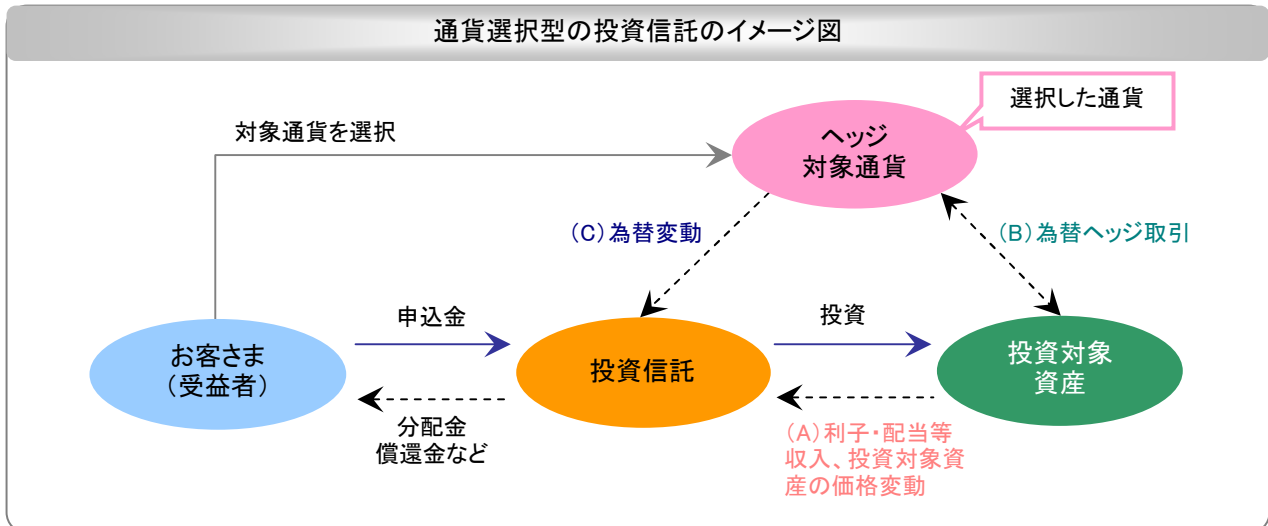
※12ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。



ロー

東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型） 月次報告書

通貨選択型投資信託の収益のイメージ



■通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替ヘッジの対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

■通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

①投資対象資産による収益(上図(A)部分)

- ・投資対象資産が値上がりした場合や利子・配当が支払われた場合は、基準価額の上昇要因となります。
- ・逆に、投資対象資産が値下がりした場合には、基準価額の下落要因となります。

②為替ヘッジプレミアムによる収益(上図(B)部分)

- ・「選択した通貨」(コース)の短期金利が、投資信託の「投資対象資産の通貨」の短期金利よりも高い場合は、その金利差による「為替ヘッジプレミアム」が期待できます。
- ・逆に、「選択した通貨」(コース)の短期金利のほうが低い場合には、「為替ヘッジコスト」が生じます。
- ・なお、「選択した通貨」と「投資対象資産の通貨」が同一通貨の場合、為替ヘッジプレミアムや為替ヘッジコストは発生しません。
- ※新興国通貨の場合などは、金利差がそのまま反映されない場合があります。

③為替変動による収益(上図(C)部分)

- ・上図(B)部分とは異なり、上図(C)部分については為替ヘッジを行っていないため、「選択した通貨」(円を除く。以下同じ)の円に対する為替変動の影響を受けることとなります。
- ・「選択した通貨」の対円レートが上昇(円安)した場合は、為替差益を得ることができます。
- ・逆に、「選択した通貨」の対円レートが下落(円高)した場合は、為替差損が発生します。

■これまで説明しました内容についてまとめますと、以下のようになります。

収益の源泉	=	利子・配当収入、投資対象資産の値上がり/値下がり	+	為替ヘッジプレミアム / 為替ヘッジコスト	+	為替差益/為替差損
-------	---	--------------------------	---	-----------------------	---	-----------

収益を得られるケース	投資対象資産の市況の好転 (金利の低下など)	ヘッジ対象通貨の短期金利が、投資対象資産の通貨の短期金利を上回る	ヘッジ対象通貨が対円で上昇(円安)
	ハイブリッド証券等の価格の上昇	ヘッジプレミアムの発生	為替差益の発生
損失やコストが発生するケース	ハイブリッド証券等の価格の下落	ヘッジコストの発生	為替差損の発生
	投資対象資産の市況の悪化 (金利の上昇、発行体の信用状況の悪化など)	ヘッジ対象通貨の短期金利が、投資対象資産の通貨の短期金利を下回る	ヘッジ対象通貨が対円で下落(円高)

※12ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>

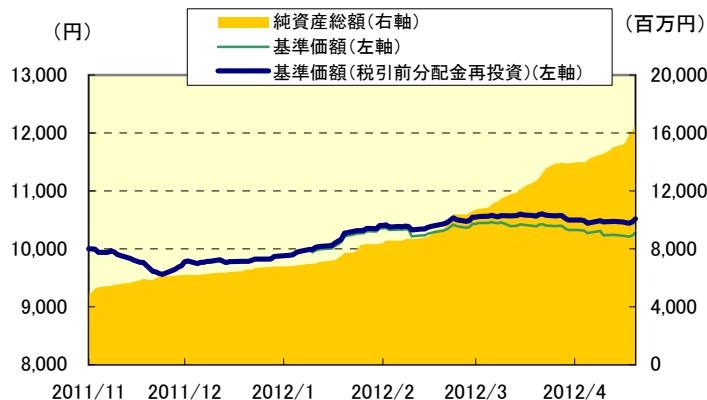


ロゲー

東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型） 月次報告書

円コース（毎月分配型）

基準価額・純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。
 ※基準価額は1万口当たりで表示しています。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
 ※設定日は2011年11月8日です。

騰落率（税引前分配金再投資、％）

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.57	+1.93	-	-	-	+5.17

※ ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものとして計算しているため、実際の投資家利回りとは異なります。

基準価額・純資産総額

基準価額	10,283円
純資産総額	16,606百万円

分配の推移（1万口当たり、税引前）

2012/1	2012/2	2012/3	2012/4	2012/5	2012/6	2012/7
50円	60円	60円	60円			
2012/8	2012/9	2012/10	2012/11	2012/12	設定来累計	
					230円	

※ 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。

分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

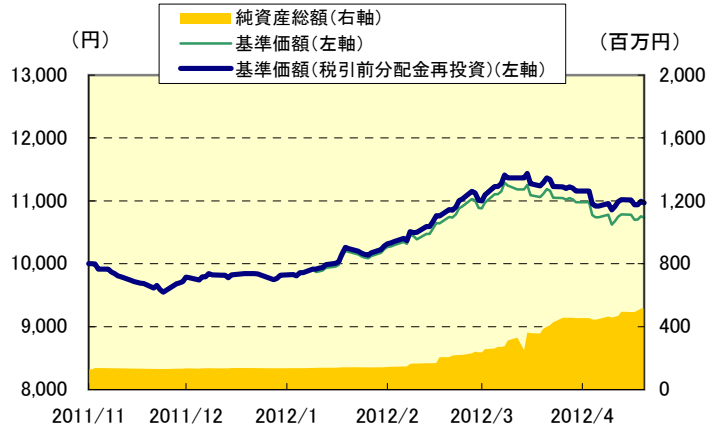
主要な資産の状況

資産名	比率（％）
東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド・カレンシー・セレクション（日本円ヘッジクラス）	103.1
東京海上マネーマザーファンド	0.0
短期金融資産など	-3.1
合計	100.0

※ 比率は純資産総額に占める割合です。

米ドルコース（毎月分配型）

基準価額・純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。
 ※基準価額は1万口当たりで表示しています。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
 ※設定日は2011年11月8日です。

騰落率（税引前分配金再投資、％）

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.32	+7.86	-	-	-	+9.68

※ ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものとして計算しているため、実際の投資家利回りとは異なります。

基準価額・純資産総額

基準価額	10,732円
純資産総額	516百万円

分配の推移（1万口当たり、税引前）

2012/1	2012/2	2012/3	2012/4	2012/5	2012/6	2012/7
50円	60円	60円	60円			
2012/8	2012/9	2012/10	2012/11	2012/12	設定来累計	
					230円	

※ 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。

分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

主要な資産の状況

資産名	比率（％）
東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド・カレンシー・セレクション（米ドルヘッジクラス）	114.4
東京海上マネーマザーファンド	0.0
短期金融資産など	-14.4
合計	100.0

※ 比率は純資産総額に占める割合です。

※12ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用：東京海上アセットマネジメント投信
 URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>

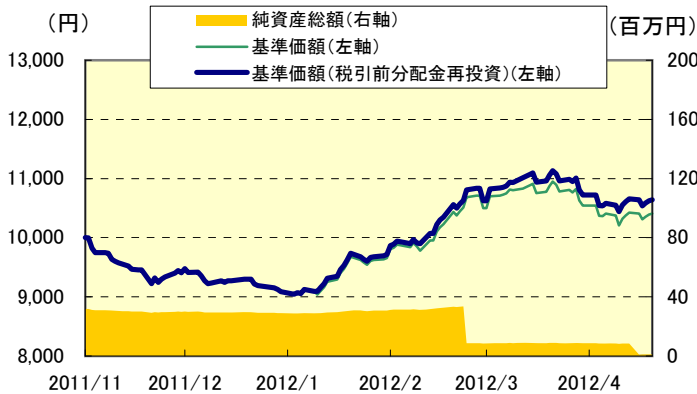


ロゲー

東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型） 月次報告書

ユーロコース（毎月分配型）

基準価額・純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。
 ※基準価額は1万口当たりで表示しています。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
 ※設定日は2011年11月8日です。

騰落率（税引前分配金再投資、%）

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.92	+10.42	-	-	-	+6.41

※ ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算しているため、実際の投資家利回りとは異なります。

基準価額・純資産総額

基準価額	10,408円
純資産総額	1百万円

分配の推移（1万口当たり、税引前）

2012/1	2012/2	2012/3	2012/4	2012/5	2012/6	2012/7
55円	55円	55円	55円			
2012/8	2012/9	2012/10	2012/11	2012/12	設定来累計	
					220円	

※ 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。

分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

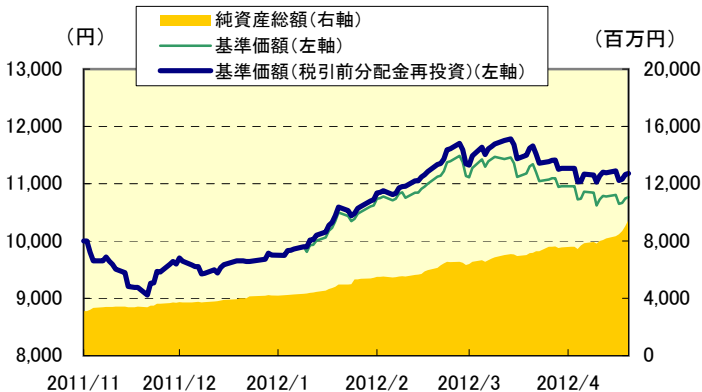
主要な資産の状況

資産名	比率(%)
東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド・カレンシー・セレクション（ユーロヘッジクラス）	96.4
東京海上マネーマザーファンド	1.0
短期金融資産など	2.6
合計	100.0

※ 比率は純資産総額に占める割合です。

豪ドルコース（毎月分配型）

基準価額・純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。
 ※基準価額は1万口当たりで表示しています。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
 ※設定日は2011年11月8日です。

騰落率（税引前分配金再投資、%）

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.55	+7.05	-	-	-	+11.79

※ ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算しているため、実際の投資家利回りとは異なります。

基準価額・純資産総額

基準価額	10,764円
純資産総額	9,500百万円

分配の推移（1万口当たり、税引前）

2012/1	2012/2	2012/3	2012/4	2012/5	2012/6	2012/7
90円	105円	105円	105円			
2012/8	2012/9	2012/10	2012/11	2012/12	設定来累計	
					405円	

※ 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。

分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

主要な資産の状況

資産名	比率(%)
東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド・カレンシー・セレクション（豪ドルヘッジクラス）	105.0
東京海上マネーマザーファンド	0.0
短期金融資産など	-5.0
合計	100.0

※ 比率は純資産総額に占める割合です。

※12ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

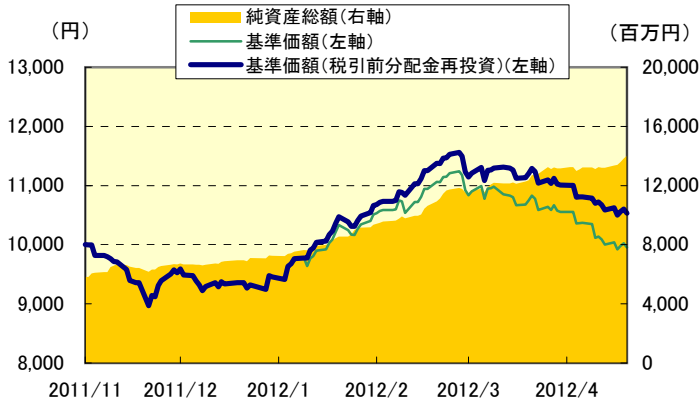
設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>


 ロゲー
 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型） 月次報告書

ブラジル・リアルコース（毎月分配型）

基準価額・純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。
 ※基準価額は1万口当たりで表示しています。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
 ※設定日は2011年11月8日です。

騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-4.58	+2.16	-	-	-	+5.34

※ ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものとして計算しているため、実際の投資家利回りとは異なります。

基準価額・純資産総額

基準価額	9,955円
純資産総額	14,018百万円

分配の推移(1万口当たり、税引前)

2012/1	2012/2	2012/3	2012/4	2012/5	2012/6	2012/7
135円	150円	150円	150円			
2012/8	2012/9	2012/10	2012/11	2012/12	設定来累計	
					585円	

※ 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。
 分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

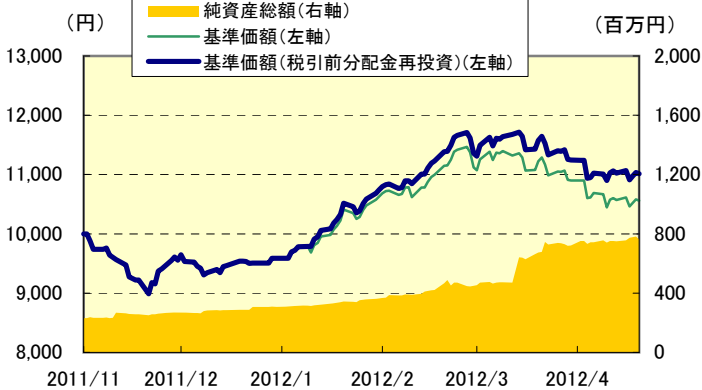
主要な資産の状況

資産名	比率(%)
東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド・カレンシー・セレクション(ブラジル・リアルヘッジクラス)	100.4
東京海上マネーマザーファンド	0.0
短期金融資産など	-0.5
合計	100.0

※ 比率は純資産総額に占める割合です。

資源国通貨バスケットコース（毎月分配型）

基準価額・純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。
 ※基準価額は1万口当たりで表示しています。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
 ※設定日は2011年11月8日です。

騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.82	+6.35	-	-	-	+10.14

※ ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものとして計算しているため、実際の投資家利回りとは異なります。

基準価額・純資産総額

基準価額	10,560円
純資産総額	763百万円

分配の推移(1万口当たり、税引前)

2012/1	2012/2	2012/3	2012/4	2012/5	2012/6	2012/7
100円	115円	115円	115円			
2012/8	2012/9	2012/10	2012/11	2012/12	設定来累計	
					445円	

※ 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。
 分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

主要な資産の状況

資産名	比率(%)
東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド・カレンシー・セレクション(資源国通貨バスケットヘッジクラス)	101.8
東京海上マネーマザーファンド	0.0
短期金融資産など	-1.8
合計	100.0

※ 比率は純資産総額に占める割合です。

※12ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

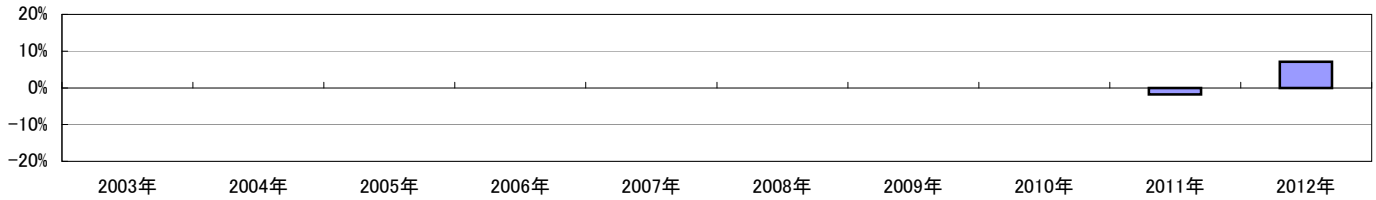
設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信
 URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>


 ロゲー
 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型） 月次報告書

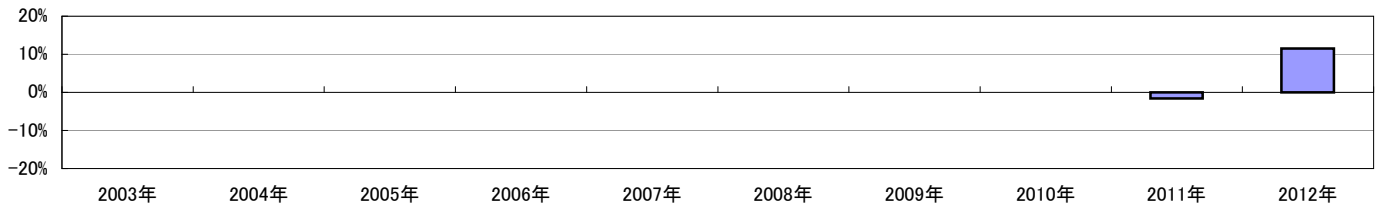
年間収益率の推移

※ベンチマークはありません。

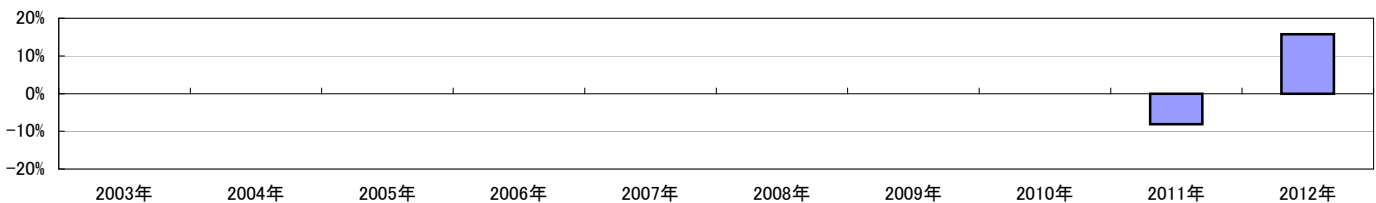
円コース(毎月分配型)



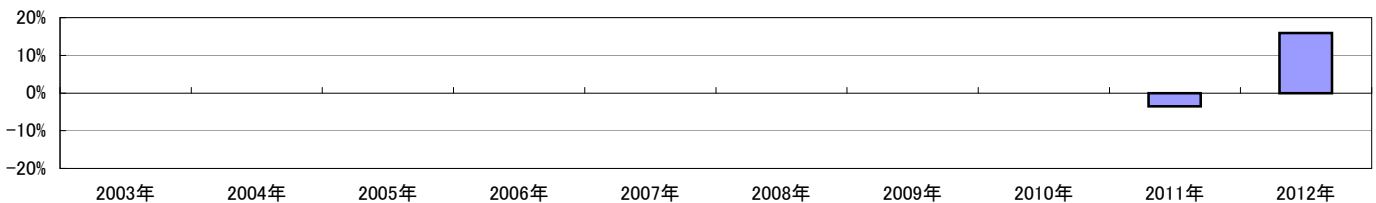
米ドルコース(毎月分配型)



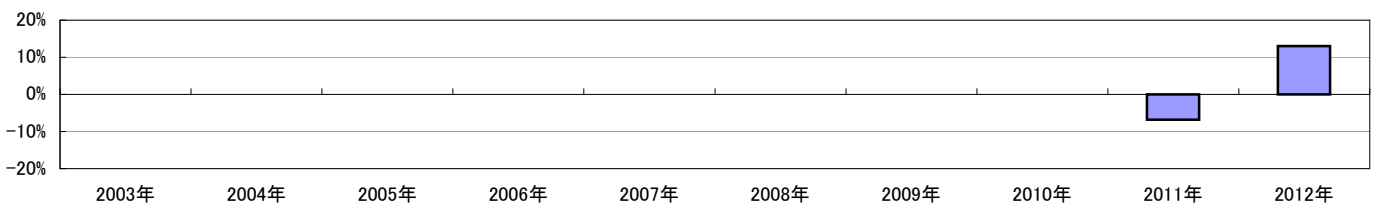
ユーロコース(毎月分配型)



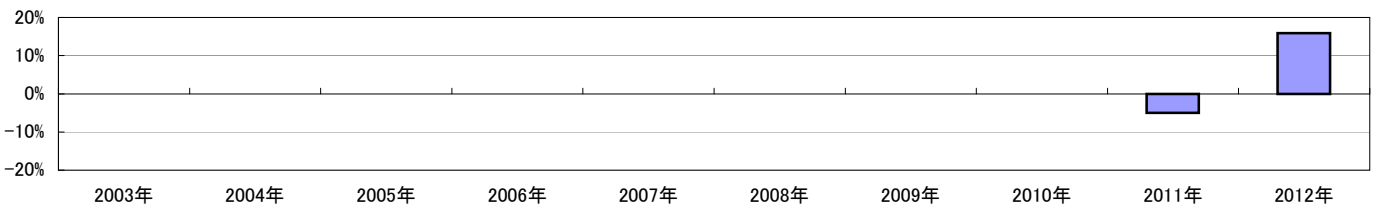
豪ドルコース(毎月分配型)



ブラジル・リアルコース(毎月分配型)



資源国通貨バスケットコース(毎月分配型)



※ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資したものと計算しており、設定日以降を表示しています。

※設定年は設定時と年末の騰落率です。当年は昨年末と基準日の騰落率です。

※上記は過去の実績であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

※12ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



ロゲー

東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型） 月次報告書

東京海上ストラテジック・トラスト

東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド・カレンシー・セレクションの資産状況

※基準価額算定の基準で記載しています。

証券種別構成比率

資産	比率(%)
期限付劣後債	60.1
永久劣後債	3.9
優先出資証券	29.7
その他	6.3

ハイブリッド証券等の属性情報

平均残存期間(年)	8.93
平均修正デュレーション(年)	5.73
平均クーポン(%)	6.23
平均利回り(複利、%)	7.49
平均格付	BBB

組入上位5カ国

	国名	比率(%)
1	アメリカ	26.7
2	イギリス	21.8
3	フランス	8.8
4	オランダ	7.0
5	スイス	6.8

格付別構成比率

格付	比率(%)
AAA格	4.9
AA格	9.1
A格	43.5
BBB格	41.1
BB格以下	1.4
無格付	0.0

組入上位10銘柄

	銘柄名	証券種類	クーポン(%)	償還日	国	格付	比率(%)
1	BNP PARIBAS VI	優先出資証券	5.868	2013/1/16	フランス	A	3.1
2	ROYAL BK SCOTLAND	期限付劣後債	6.934	2018/4/9	イギリス	BBB	3.1
3	GE CAP TRUST I	期限付劣後債	6.375	2017/11/15	アメリカ	AA	3.1
4	ABN AMRO BANK NV	期限付劣後債	6.375	2021/4/27	オランダ	A	2.8
5	JPMC CAP XVIII	優先出資証券	6.950	2036/8/17	アメリカ	A	2.7
6	BARCLAYS BK PLC	期限付劣後債	6.000	2018/1/23	イギリス	A	2.6
7	GOLDMAN SACHS GP	期限付劣後債	4.750	2021/10/12	アメリカ	A	2.6
8	WELLS FARGO CAP	優先出資証券	5.950	2036/12/15	アメリカ	BBB	2.5
9	UBS AG JERSEY	期限付劣後債	7.250	2017/2/22	スイス	BBB	2.5
10	CSG GUERNSEY	期限付劣後債	7.875	2016/8/24	スイス	BBB	2.5

※各比率は保有するハイブリッド証券等の時価総額に占める割合です。

※「ハイブリッド証券等の属性情報」は、保有するハイブリッド証券等の時価評価額を基に計算しています。平均残存期間、平均修正デュレーション、平均利回りは、繰上償還条項が付与されている銘柄は基準日以降最初の繰上償還予定日を使用して計算しています。平均格付は、格付毎に点数化(例えばAAA格は6、AA格は5など)し、加重平均した結果を切り捨てて表示しており、当ファンドの格付ではありません。

※「組入上位10銘柄」の償還日は繰上償還条項が付与されている銘柄は基準日以降最初の繰上償還予定日を表示しています。

組入銘柄数 69

(注)格付はMoody's社、S&P社、Fitch社のうち、原則として上位の格付を集計、記載しています。+-等の符号は省略して表示しています。

ファンドマネージャーコメント

●ハイブリッド証券価格動向

金融機関のハイブリッド証券の価格は、全般的に下落しました。スペインの財政問題や欧州各国の景気後退に対する懸念、米国雇用統計が事前予想を下回ったことなどを背景にリスク回避姿勢が強まり、クレジット環境が軟化したことが要因となりました。

実質的に投資を行う外国投資信託において、ハイブリッド証券等の組入比率は90%超となっています。

●選択通貨動向

＜米ドルコース＞

・米ドル円レートは、前月から米ドル安円高の水準で月を終えました。

＜ユーロコース＞

・ユーロ円レートは、前月からユーロ安円高の水準で月を終えました。

＜豪ドルコース＞

・豪ドル円レートは、前月から豪ドル安円高の水準で月を終えました。

＜ブラジル・リアルコース＞

・ブラジル・リアル円レートは、前月からブラジル・リアル安円高の水準で月を終えました。

＜資源国通貨バスケットコース＞

・資源国通貨バスケットコースに含まれるブラジル・リアル、豪ドル、南アフリカ・ランドはいずれも対円で下落したことから、資源国通貨バスケットは前月から資源国通貨バスケット安円高の水準で月を終えました。

※12ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

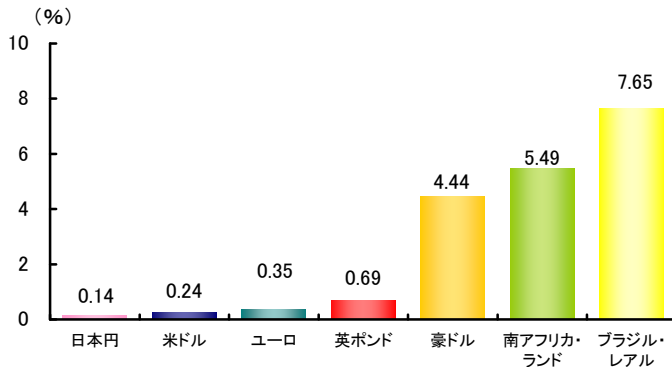
設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>

ロゲー
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型） 月次報告書

「ご参考」

主な通貨の短期金利



※短期金利は、以下の数値を使用しています。

日本円、米ドル、ユーロ、英ポンド、豪ドル：1か月LIBOR
南アフリカ・ランド：ヨハネスブルグ インターバンク アグリド・レート(1か月)
ブラジル・レアル：ブラジル・レアルNDF想定金利(1か月)

資源国通貨バスケット：上記の豪ドル、南アフリカ・ランド、ブラジル・レアルの各短期金利の平均値

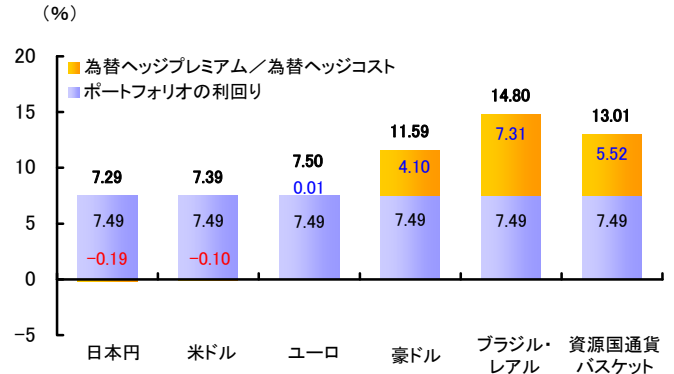
※ブラジルの短期金利は、NDF想定金利を使用しています。NDF想定金利は、NDFの取引価格(予約レート)と取引時点の為替レートに基づき、理論上算出される金利です。需給や当該通貨に対する期待感等が反映され、当該通貨の先高期待が強まった場合などには、理論上マイナス金利になる場合があります。

※外国投資信託の実際の利回りは、債券等の組入比率や投資銘柄、市場環境、為替ヘッジ比率などの要因により変動しますので、上記の利回りは異なります。

※上記の為替ヘッジプレミアム/コストは、外国投資信託における実際の為替ヘッジプレミアム/コストとは異なります。また、金利環境や投資環境の変化等によっては、金利差を十分に享受できない場合があるなど、上記とは異なる可能性があります。

※外国投資信託では米ドル建以外のハイブリッド証券等に関して、原則として対米ドルで為替ヘッジ後、各ヘッジ対象通貨に為替ヘッジを行います。完全にヘッジを行うことができないとは限りません。

ポートフォリオの利回りと為替ヘッジプレミアム/コスト【シミュレーション】

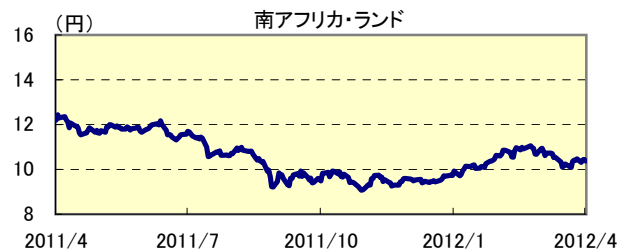
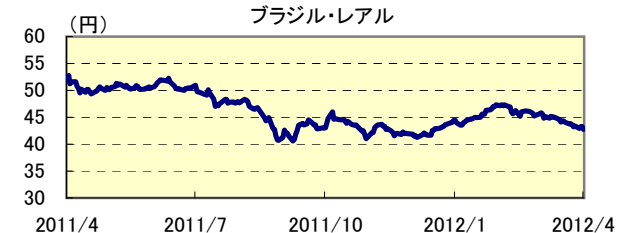
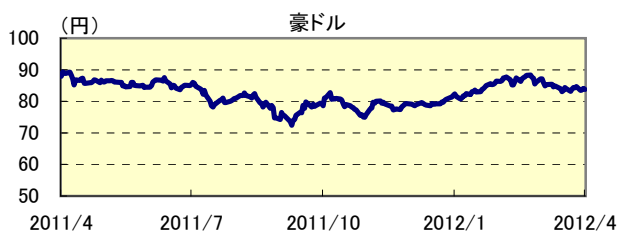
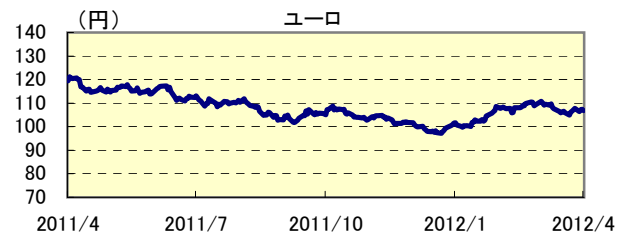
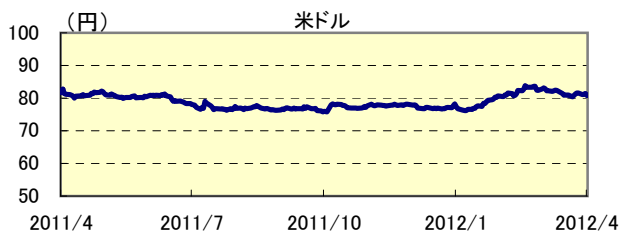


基準価額算定基準日の金利差とポートフォリオの通貨配分比率(米ドル：46.9%、ユーロ：40.8%、英ポンド：12.3%)を基に算出した数値です。

上記は過去の実績および過去の実績に基づくシミュレーションであり、将来の運用状況や運用成果などを示唆・保証するものではありません。

出所：ブルームバーグ

ヘッジ対象通貨の為替レート(対円)の動き(日次、過去1年)



※為替レートは、WMロイターを使用しています。

※上記は過去の実績であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

※資源国通貨は、「豪ドル、ブラジル・レアル、南アフリカ・ランド」の3つの通貨の日次騰落率を各3分の1ずつ加重平均し、2006年12月29日を100として指数化したものです。

出所：FactSet

※12ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用：東京海上アセットマネジメント投信
URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



ロゲー

東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型） 月次報告書

お申込メモ

※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

- 購入の申し込み : 原則として、毎営業日にお申し込みを受け付けます。
ただし、申込日がニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドンの銀行、ルクセンブルグの銀行のいずれかの休業日に該当する日には受け付けを行いません。
受付は午後3時までとします。
受付時間を過ぎてからの申し込みについては、翌営業日受付の取り扱いとなります。
- 購入単位 : 販売会社やお申し込みのコースなどによって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
お申し込みには、収益分配金の受取方法により以下の2種類のコースがあります。
〈分配金受取りコース〉分配金を受け取るコースです。
〈分配金再投資コース〉分配金が税引後、自動的に無手数料で再投資されるコースです。
※なお、「マネープール・ファンド」は、他の各コースからのスイッチングのみとします。
- 購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金の請求 : 原則として、毎営業日にご換金の請求を受け付けます。
ただし、換金請求日がニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドンの銀行、ルクセンブルグの銀行のいずれかの休業日に該当する日には受け付けを行いません。
受付は午後3時までとします。
受付時間を過ぎてからの換金請求については、翌営業日受付の取り扱いとなります。
※なお、「マネープール・ファンド」については、毎営業日にご換金の請求を受け付けます。
※信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
- 換金単位 : 販売会社やお申し込みのコースなどによって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金の支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 信託期間 : 原則として、2011年11月8日から2021年9月17日まで
※ただし、約款で定める所定の事由に該当する場合には、期間満了前に信託を終了させることがあります。
- 収益分配 : [各コース] 原則として、毎月17日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に、分配方針に基づいて収益分配を行います。
※初回決算日は2012年1月17日です。
[マネープール・ファンド] 原則として、毎年3月17日および9月17日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に、分配方針に基づいて収益分配を行います。
※分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。
- 課税上の取り扱い : 収益分配時の普通分配金、換金時および償還時の差益に対して課税されます。
※課税上は株式投資信託として取り扱われます。
※益金不算入制度および配当控除の適用はありません。
※税制改正などにより、課税上の取扱内容が変更になる場合があります。

当ファンドにかかる手数料等について

※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

- 購入時に直接ご負担いただく費用
 - ・ 購入時手数料 : [各コース] 購入価額に**3.15% (税抜3%)**の率を乗じて得た額を上限として販売会社が個別に定める額とします。
[マネープール・ファンド] ありません。
※各コース（「マネープール・ファンド」を除く）へのスイッチング手数料は、販売会社が個別に定める額とします。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金時に直接ご負担いただく費用
 - ・ 換金時手数料 : 換金手数料はありません。
 - ・ 信託財産留保額 : 信託財産留保額はありません。
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用
 - ・ 信託報酬 : [各コース] 投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加えた実質的な信託報酬は**年1.64615%程度 (税込)**となります。
各コースの信託報酬率：信託財産の純資産総額に対し、年0.96915% (税抜0.923%)
外国投資信託：純資産総額に対し、年0.677%
*ただし、**外国投資信託の信託報酬のうち受託会社に支払う報酬(年0.01%)が10,000米ドルに満たない場合は、10,000米ドルとなりますので、外国投資信託の純資産総額によっては上記報酬率を超える場合があります。**
東京海上マネーマザーファンド：ありません
[マネープール・ファンド] 信託財産の純資産総額に対し、**年0.00105%～年0.23625% (税抜0.001%～0.225%)**の範囲内の率を乗じて得た額
 - ・ その他の費用 : 監査報酬(純資産総額に対し、税込 年0.0105%(上限 年63万円))（「マネープール・ファンド」はありません）、有価証券売買時の売買委託手数料、信託事務等に要する諸費用などをファンドの信託財産を通じて間接的にご負担いただきます。
(監査報酬を除く「その他の費用」は実際の取引などに応じて決まる費用であるため、その料率、金額などを事前に表示することはできません。)

※当ファンドの手数料等の合計金額については、保有期間などに応じて異なりますので表示することができません。

※12ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



ロゲー

東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型） 月次報告書

委託会社、その他関係法人

■委託会社:東京海上アセットマネジメント投信株式会社

信託財産の運用指図などを行います。

商号等: 東京海上アセットマネジメント投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号

加入協会: 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会

■受託会社:三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

信託財産の保管・管理などを行います。

■販売会社

投資信託説明書(目論見書)のご提供、募集・販売の取り扱い、一部解約事務および収益分配金・解約金・償還金の支払いなどを行います。

商号(五十音順)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	社団法人 日本証券 投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○

《当ファンドの照会先》

上記販売会社または下記までお問い合わせください。

東京海上アセットマネジメント投信

サービスデスク 0120-712-016

※土日祝日・年末年始を除く9時～17時

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、東京海上アセットマネジメント投信が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申し込みにあたっては必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社までご請求ください。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績は、過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある証券など(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- 投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。
- 投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。